paper RADIO
ハイサイ！ウチナ～タイム！
沖縄の旬な情報と音楽をお届けする
ラジオ番組のフリーペーパー！

Free
お気軽にお取り下さい

FM おだわら 78.7MHz
http://fm-odawara.com/

公式アカウント
ハイサイ！ウチナータイム！

毎週水曜 19:00～20:00　再放送 毎週土曜 18:00～19:00
首都圏を中心に約 180 ヶ所。10,000 部を配布！

No. 14　2017 5月

【第２６３回】５月１７日（水）・再放送２０日（土）
ゲスト出演（電話インタビュー）

pickup Artist

green note coaster

green note coaster official web site
https://www.gnc-music.com

5/20（土）、21（日）に開催される
OKINAWA まつりにも出演！

グリーンノートコースター
金城美織（キンジョウミオ）Vocal　佐々木皓太（ササキコウタ）Vocal.DJ　田中秀樹（タナカヒデキ）Guitar
2010 年沖縄にて結成
2011 年７月に県内の人気バンドを多く生んだ「シーポートちゃたんカーニバルインディーズミュージックコンテスト」にてグランプリを受賞。同 10 月には大阪で開催された「ミュージシャングランプリ OSAKA2011」にてグランプリを受賞。県内メディアからも注目を集め「永遠」が「沖縄テレビ飲酒運転根絶キャンペーン」のイメージソングに、「アイ」がほっともっと亭の県内 CM ソングにそれぞれ採用され、９月にシングル「永遠」を県内限定リリースする。
2012 年 11 月 初のアルバム「Pieces of the light」を発表。収録曲「sing like a bird」「アイ」の２本で１つの物語となるストーリー仕立てのミュージッククリップが話題となる。
2013 年７月オリオンビール「クリアフリー」の CM ソングとして「キミニトドケ」を沖縄限定シングルとしてリリース。このタイアップにより更に沖縄県内の知名度をさらに広げる。
2015 年４月､2 年半振りとなるニューアルバム「tree」を県内＆配信リリース。沖縄県内ではアルバム１曲目の「ブルーバード」が FM 沖縄、ラジオ沖縄、RBCi ラジオの民放３局全てでパワープレイを獲得。11 月からはブルーシールアイスクリームのクリスマス CM ソングとして新曲「ハピネスが」使用されダウンロードシングルとしてリリース。
2016 年１月 協和ガスの CM ソングとして「ごはんの時間」がオンエアー。
５月から沖縄県広報番組「うまんちゅ広場」のオープニングテーマとして「ブルーバード」が採用される。
2017 年 春　幅広い活動を目指し東京に拠点を移す。

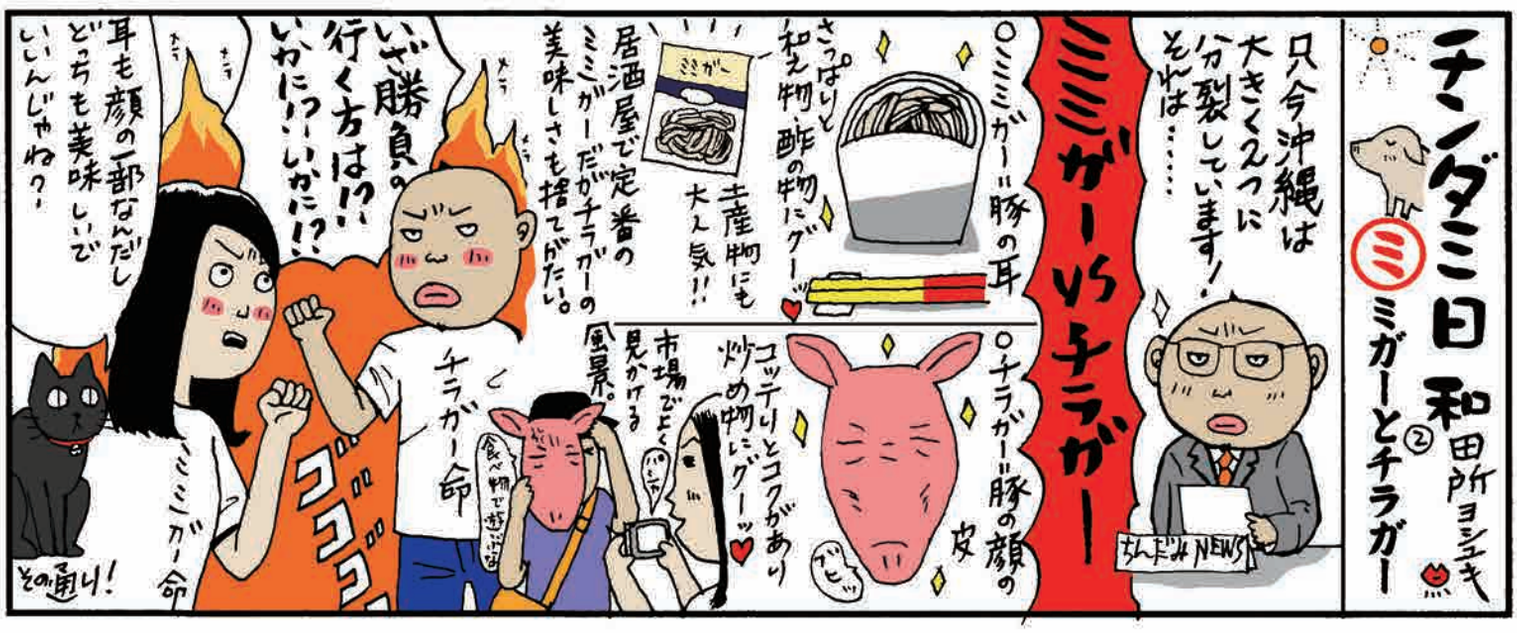
オキナワ
カルチャー
ウェブマガジン
habu
connection

東京 神奈川 首都圏の
沖縄情報は
ハブコネ で検索！
番組が紹介されてます。

配布協力
沖縄ショップ
ぷからす家
ぷからす家さんのお取引のある店舗に当紙が配布されています！

ラジオの聞き方　スマートフォンで聴く場合、アプリが不要になりました！
パソコンと同じ URL をスマホからアクセスするだけで聴けます。

新しい配信 URL は、以下の通りです。
http://www.jcbasimul.com/?radio=fm おだわら



たるーの島唄コラム

第二回 モーアシビ

もうお花見の時期も過ぎてしまったが私たちは野外で遊ぶのが好きだ。

昔から沖縄でも「モーアシビ」という野外での遊びが盛んだった。「毛遊び」という当て字をするが「モー」とは草原の事で畑ではない野外の荒地を指す。「アシビ」とは遊ぶ事。

モーアシビの様子の記録を読むと面白い。満月などの日は仕事も休み、昼間は祭りや神事が行われ日が沈む頃に高台の原っぱなどに若い男女が集った。

昼のご馳走や酒の残りなどを持ち寄り、ある者は三線を弾き唄い、ある者は踊った。

沖縄本島で「安波節」（あはぶし）といえば

「安波の崖の上は心にまで風が当たるような清々しい場所。その奥の松の下は寝るところ」とモーアシビの様子を歌う。

昔モーアシビには引っ張りだこで「島唄の巨人」と呼ばれた嘉手苅林昌（かでぃかるりんしょう）さんが唄うナークニーには

「風は北風が吹き私は貴女への想いを風に乗せたが風が持って行ったのか貴女には届かない」という歌詞がある。

ウタは相手（彼女）を呼び寄せる手段でもあった。

携帯電話もない時代にウタは遠くの相手に想いを伝える道具だった。またウタは普通の会話でもあった。即興で誰かが歌えば誰かが次の歌詞を返した。それが互いの恋心を育てた。

今帰仁の古老からモーアシビの場所を移動して山道を数時間かけて歩く時にも歌い続けたと聞いた。隣村に出かけて行きながら恋しい相手への想い、振られた悔しさなど、その時の気持ちを乗せた。

またウタは競い合いでもあった。どちらかのウタが出て来なければ負けだ。こうしてモーアシビからは沢山のウタが生まれ育てられ鍛えられた。

現在ではモーアシビは見られなくなった。明治期に禁止されたのだ。今私たちはカラオケやライブに行く。モーアシビのような場所はなくなった。

ウタを育てた揺りかごはどこに行ってしまったのか。

それでも沖縄ではウタが生まれ続けている。それが新しい時代にも対応する沖縄のウタの生命力なのかもしれない。

たるー（関 洋）

宮崎県生まれ。広島在住。ブログ「たるーの島唄まじめな研究」著者。島唄の訳と解説をして10年！琉球民謡協会教師。広島で三線教室や「YOU 果報バンド」を主宰。

ども！JJです！第2回のPRCエンタメ通信は沖縄のエンターテイメントの現状について書きたいと思います。

皆さんがパッと思いつく「沖縄のエンターテイメント」とは何でしょう？大体の方が、エイサーや琉球舞踊などを思い浮かべると思います。

いわゆる伝統的な文化・芸能として伝わるものが沖縄のエンターテイメントとして定着していますね。

でも、僕が知りうる限り沖縄は多くのパフォーマーが活動しています。中には沖縄を拠点に全国、世界で活躍するパフォーマーもいて宮本亜門さんが沖縄でオーディションを行った時にはタレントの多さにビックリしていました（笑）

僕は沖縄には今後、パフォーマーの力が必ず必要になると思っています。沖縄県は入域観光客数1000万人を目標に様々な政策を行っている中で、伝統舞踊やエイサーでは補いきれないエンターテイメント不足を痛感する時が来ます。

その時、パフォーマーの力が必ず必要になるはずです。その沖縄のパフォーマー達の知名度を高めて、沖縄のエンターテイメント界に貢献することが大切であり、パフォーマー自ら行動することが大切です。それを実行するため、昨年4月にパフォーマー・クリエーター派遣組織「琉球パフォーマーズコネクション」が設立されました。

沖縄で活動する表現者をメジャーにするべく、そしてパフォーマーにしかできない社会貢献を形にするべく、活動する組織です。

いずれはこの組織でパフォーマンスエンターテイメントを作り上げ、サーカスのように上演することが目標です。現在は30組を超えるパフォーマーが所属し、様々なステージにパフォーマーを送り出しています。

ぜひ、一度サイトをご覧ください。沖縄だけでもこんなにも表現者がいることに驚くことでしょう！QRコードもしくは「琉球パフォーマーズコネクション」で検索を。

この琉球パフォーマーズコネクションが沖縄のエンターテイメント界に新しい風を起こすことでしょう。

では、また次回！あーでぃおーす！

PRO BASKETBALL PERFOMER JJ

パフォーマーネーム：JJ
出身：沖縄
所属：琉球パフォーマーズコネクション代表
琉球パフォーマンスクルー「WHO'S NEXT」代表
エキストリームエンターテイメント集団「CHIMERA」